

全国地方議員研修会「今、国と地方が直面する課題と地方議員への期待」

28.7.31

今回、日本全国から100名ほどの県会議員、区会議員、市会議員が東京に集まっての会議であった。

題は「今、国と地方が直面する課題と地方議員への期待」であり、4つのセッションに渡り講義があった。

セッション1は、内外の共産主義の台頭にどう対処するのかという題であり、今の中国の問題が主であった。

セッション2は、全国に拡散する同性パートナーシップ条例の危機とその対応策という題であり、他自治体ではあっても、同性でパートナーを組んだ場合、例えば呉市に転入された場合は、対応に困ってしまうことになる。このようなことを注意、喚起された。

セッション3は、中国・北朝鮮の脅威と沖縄基地問題から見た地方への影響という題で元自衛隊幕僚長が語られた。

呉が関与する問題ではないが、国内外の情勢は知っておく必要がある。

セッション4は、地方創生をどう取り組むかという題で国会議員が語られた。

国会議員の話は主に6月30日に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生基本方針2015」についてであった。

「まち・ひと・しごと創生基本方針2015」の内容は、多岐に渡るが、すぐに動くべきであるのは、政府関係機関の地方移転である。

道府県からの提案受付が平成27年8月迄であり、方針が決定されるのは本年度中である。

研究所等と地方に移転させれば、地域は大きく活性化する。政府関係機関移転で呉に話等すると共に、他の事業についても国の救いの手に対して素直に手を差し出すべきである。